

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月14日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104738		
法人名	有限会社 こころ		
事業所名	グループホーム里山		
所在地	松山市鷹子町乙402番地9 (電話) 089-976-2681		
管理者	竹本 亜矢		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMCS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成20年11月20日	評価確定日	平成21年1月14日

【情報提供票より】 (平成20年11月5日事業所記入)

(1)組織概要				
開設年月日		平成17年3月25日		
ユニット数		2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数		17 人	常勤	13人, 非常勤 4人, 常勤換算 14.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃(平均月額)		35,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金		有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)		有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,050 円			
(3)利用者の概要 (平成20年11月5日現在)				
利用者人数		18 名	男性 8 名	女性 10 名
要介護1		5 名	要介護2	6 名
要介護3		3 名	要介護4	3 名
要介護5		1 名	要支援2	0 名
年齢	平均	82 歳	最低	68 歳
			最高	94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定 (あり)・なし		指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)		指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)		短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)		医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- 居間から出られるよう、スロープで新たな出入り口を設けられた。隣のアパートの住人の方を個々に訪問し、災害時の協力をお願いされており、いざという時に駆けつけてくれるようになっている。
- 下絵をご自分で描いて、ちぎり絵等もされている。季節に応じて花見やほたる狩り・動物園等にも出かけられている。
- 職員は、利用者に悩みを相談したり、話を聞いてもらうこともある。又、利用者から「相談してみても」と気遣ってくださることもある。
- 介護計画は、ご本人・ご家族の希望も聞きながら、職員で話し合い作成されている。立案された計画はご本人に説明されている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・ 前回の評価結果を受けて職員は、利用者とかかわる時間を増やされたり、研修班を決め、職員のスキルアップ等に取り組まれた。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・ 非常勤職員も含め、職員全体で自己評価に取り組まれた。職員会時、少人数に分かれて日々を振り返り、管理者が自己評価をまとめられた。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・ 会議では、事業所の行事報告や防災訓練の実施報告等をされている。会議の参加者からボランティア等を紹介していただいた。出席いただいた方から「玄関前が寂しい」「庭の手入れをするように」等、意見をいただいた。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ 季節ごとに発行される「里山通信」では、利用者の日頃の様子や外出時の様子・職員の一言等がわかりやすく載せられており、ご家族・運営推進会議の参加者・かかりつけ医等に届けられている。事業所の行事時には(年5~6回)ご家族もお誘いしている。
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・ 近くの運動公園で行われる地域主催の夏祭りや運動会の際には、利用者も参加されており、事業所のトイレや畳の部屋を開放されている。又、事業所は「まもる君の家」の登録をされている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム里山

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏 名 竹本 亜矢

評価完了日 平成 20 年 11 月 20 日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念はありますが、地域密着型サービスとしては未だ確立出来ていません。		今後話し合い、作り上げたいと思います。
			(外部評価)		
			事業所では、「明るく健康で心豊かなその人らしい生活ができる、安らぎのある暮らしを支えます」という理念を掲げ、地域密着型サービスとしての理念については、現在、職員で話し合いをされている。		貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、具体的に話し合い、理念を作り上げていかれてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関に掲げ、いつも見えるようにしています。また、申し送り時にも理念に必ず触れ、確認しあうようにしています。		今後も取り組んでいきたいと思います。
			(外部評価)		
			月一度の職員会では、施設長（運営者）が、事業所の理念にふれながらお話をされている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ホーム便りを活用して、家族の方には理解をして貰えていると思いますが、地域の方にはまだあまり理解して頂けていません。		町内の行事に参加する等、地域の人々に理解して頂けるよう、働きかけていきます。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩に出かけ、近隣の人達と挨拶を交わしたり、話をしたりしています。		今後も継続して行きたい。
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 盆踊り、クリスマス会等で地域の人との交流を計るように努めています。		今後も行事ごとに参加して頂き、交流を深めたい。
			(外部評価) 近くの運動公園で行われる地域主催の夏祭りや運動会の際には、利用者也参加されており、事業所のトイレや畳の部屋を開放されている。又、事業所は「まもる君の家」の登録をされている。		事業所が発行するたより「里山通信」を、地域の独居高齢者に届けることを予定されていた。事業所では、地域の方達が気軽に入ってこれるような雰囲気作りに取り組むたいと考えておられた。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 出来ていません。		今後、地域で必要とされる活動や役割を担っていくようにしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の外部評価から得た指導と、改善策を中心に取り組んでいます。		運営者、管理者、スタッフで共に話し合い、取り組んでいます。
			(外部評価) 非常勤職員も含め、職員全体で自己評価に取り組まれた。職員会時、少人数に分かれて日々を振り返り、管理者が自己評価をまとめられた。前回の評価結果を受けて職員は、利用者とかかわる時間を増やされたり、研修班を決め、職員のスキルアップ等に取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議メンバーから話し合いを通じて、率直な意見を出して頂き、それを具体的に生かしています。		これからも良い運営推進会議になるよう、配慮していきたいと思います。
			(外部評価)		
			会議では、事業所の行事報告や防災訓練の実施報告等をされている。会議の参加者からボランティア等を紹介していただいた。出席いただいた方から「玄関前が寂しい」「庭の手入れをするように」等、意見をいただいた。		会議では消防署の方を招き、災害対策についての話をさせていただくことを検討されている。さらに、会議を活かしているいろいろな立場の方から意見を出していただき、貴事業所のさらなる質の向上につなげていけることが期待される。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			あまり機会がありません。		今後各会議に参加し、サービスの向上に努めていきたいと思います。
			(外部評価)		
			地域包括支援センター主催の定期交流会に参加されている。市の担当者に運営上の質問等もされている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			全員の参加が出来ていないので、一部の人はしか理解出来ていません。		今後、全員の参加が出来る様取り組みたいと思います。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見逃ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会やミーティング等を実施しながら、日々のケアの中で職員同士で声を掛け合いながら努めています。		今後も続けていきたいと思います。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事務所で出来る事、出来ない事を説明し、納得を得た上で、手続きを進めていきます。		利用者側の立場に立ち、十分な説明をして納得を得たいと思います。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置したり、日々の会話の中で意見や思いを取り入れています。		今後も利用者の意見や態度から、その思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心掛けたいと思います。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 季刊誌を発行したり、来所時や電話等でお知らせしています。		今後も続けていきます。
			(外部評価) 季節ごとに発行される「里山通信」では、利用者の日頃の様子や外出時の様子・職員の一言等がわかりやすく載せられており、ご家族・運営推進会議の参加者・かかりつけ医等に届けられている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の方、外部の人の意見を聞き、話し合って対処しています。		今後も前向きに対応し、活かして解決していきます。
			(外部評価) 事業所の行事時には(年5～6回)ご家族もお誘いしている。ご家族は、行事時や運営推進会議等で意見交換されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			スタッフ会議、ミニミーティング、個別面談、勉強会等行っている。		今後も続けたいと思います。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			必要に応じて、臨機応変な対応をしています。		話し合いを待ちながら解決して行きたいと思います。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			職員が変わる時は引継ぎをし、スムーズに移行出来る様配慮しています。		働きやすい職場作りをし、離職者が減少するようにしていきます。
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時、新人職員を紹介されたり、事業所通信でも知らせておられる。管理者は、今後、職員をユニットごとに固定していくことを検討されていた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			研修会に参加したり、勉強会を行ったり、日々のケアの中で指導を行っています。		研修会への参加、勉強会を今後も続けていきます。
			(外部評価)		
			管理者が、職員に「ケア等について不安なことはないか」聞き取り、解決に向けて2ヶ月ほど取り組み、その後、勉強会で発表し、共有されている。外部研修は、管理者が職員を指名して受講するようすすめておられる。		管理者は、職員一人ひとりの利用者に対する対応のスキルアップを図っていきたいと考えておられる。又、勉強会の成果について、地域の方達にも伝えていきたいと話された。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			管理者や職員が、同業者と交流する機会を作っています。		継続して行きます。
			(外部評価)		
			近くの運動公園で地域行事が行われる際には、他事業所の方達に駐車場を開放されている。勉強会等で顔なじみになった職員との交流も始まっている。		地区の他事業所の運営推進会議に、交代で出席しあうことも検討されている。又、今後、利用者や職員も含めた交流等も考えておられた。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			面談を行ない、職員のストレスの軽減に努めている。		これからも続けて欲しいです。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			自己評価で向上心を持って働けるよう努めています。		面談時に話し合っていきます。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			面接を行ない、今日までの状況を聴く機会を作り、関係作りに努力しています。		今後も続けていきたいです。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面接を行ない、日々相談に乗って意見を取り入れています。		今後も継続して行きます。
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			相談時、何が必要で、ある程度の事は見極めて対応しています。		本人や家族の必要に応じて、他のサービス利用に繋がっていきます。
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			家族からの相談があれば対応し、サービスを行っています。		相談が出来る雰囲気作りをしています。
			(外部評価)		
			入居前には、ご本人を訪ね、お話を聞いておられる。入居間もない頃は、ご家族の協力を得て、頻繁に来訪いただいたり、職員も、頻繁にお部屋を訪ねるように心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			利用者の思いを共感し、共に支え合える関係作りに留意しています。		喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を築いたケアをして行きます。
			(外部評価)		
			職員は、利用者に悩みを相談したり、話を聞いてもらうこともある。又、利用者から「相談してみても」と気遣ってくださることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族と同じ思いで支え合える関係作りに取り組みでいきます。		家族の思いに寄り添い乍ら支援していきます。
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出や行事に家族をお誘いしたりして、より良い関係作りにも努めています。		継続して行きます。
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 知人、友人等に訪問して頂いたり、手紙や電話での連絡を取り持つ等、つながりを継続しています。		継続して行きます。
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が声を掛け合い、利用者同士の関係が円滑にいく様働きかけています。		継続して行きます。
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 時々お手紙を書いたり、お見舞いに寄らせて頂き、話を聴いたりしています。		今後も出来る限りの事をしていきたいと思っています。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中で声掛けし、把握に努めています。		今後も継続して行きます。
			(外部評価)		
			職員は、ご本人と会話する時間をとることに心がけ、希望や意向の把握に努めておられる。		職員は、さらに利用者一人ひとりのニーズに合わせた支援ができるよう、思いの汲み取りや声かけに努めたいと話しておられた。利用者主体の支援を行うためにも、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に工夫を重ねていかれてほしい。
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			御本人や家族、関係者などから聞き取りを行っています。		今後も継続して行きます。
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者一人一人の生活リズムを理解し、その人全体の把握に努めています。		今後も継続して行きます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人、家族の要望をお聴きし、スタッフ全員で話し合い、モニタリングや意見交換を行なっている。		今後も継続して行きます。
			(外部評価)		
			介護計画は、ご本人・ご家族の希望も聞きながら、職員で話し合い作成されている。立案された計画はご本人に説明されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			見直しはあまり出来ていません。		本人や家族の要望に応じ、柔軟な見直しを計っていき たいです。
			(外部評価)		
			介護計画は、毎月評価を行い、3ヶ月で見直し、6ヶ 月で大幅な見直しをされている。退院時等、状態の変 化時には随時見直しをされている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別ファイルを用意し、24時間その人の状態が分か る様、記録をしています。		今後も継続して行きたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)		
			利用者の希望に応じて、訪問マッサージを受け入れて おられる。地域行事が近くの公園で行われる際には、 地域の参加者が事業所のトイレを使えるよう、協力さ れている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 年に2回避難訓練を行ったり、敬老会の時などはボランティアの方の力をお借りし、取り組んでいます。		今後も継続して行きたいです。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他の施設の方と意見交換を行い、利用出来るサービスを把握し、希望があれば、利用して頂くようにしています。		今後も継続して行きたいです。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の時には地域包括支援センターの方が来られるので、その時に情報交換や、援助をして頂いています。		地域の方々の協力も得たいと思っています。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望に応じ、行っています。		今後も継続して行きたいです。
			(外部評価) 利用者個々のかかりつけ医に、ご家族・職員と一緒に受診されたり、往診もある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要時、医師に相談しています。		今後も継続して行きたいです。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置して、日頃の健康管理や医療面での相談や助言等の対応を行っています。		急変時の対応、移乗時の対応等について、今後勉強会やミーティングを開催していきたいです。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には医師に本人の普段の状況や特徴などを伝え、情報交換を行っています。		今後も継続して行きたいです。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 現時点では、重度の方やターミナルの方は居られない為、取り組みは行なっていません。 (外部評価) 利用者の状態変化時等には、かかりつけ医やご家族と話し合い、事業所での看とりはむづかしいことを伝え、入院をすすめておられる。		今後はどのように関わっていくかを話し合いの機会を持ち、相談していこうと思います。 ご家族の中には、事業所で最期まで支援してほしいというような希望を持っておられる方もあり、今後、事業所では、在宅専門医との話し合いも検討されている。ご家族等の協力を得ながら、話し合いを繰り返していかれてほしい。又、事業所内の体制作りについてもすすめていかれてほしい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現時点では、重度の方やターミナルの方は居られない為、取り組みは行なっていません。		今後はどのように関わっていくかを話し合いの機会を持ち、相談していこうと思います。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者本人や家族からの情報で、スタッフが不安を取り除けるよう、きめ細かいケアが出来る様にしています。		面談時に家族にダメージの有無を確認し、プライバシーに配慮しつつ、より良いケアが出来る様にしていきます。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			職員1人1人が、プライバシーを損ねるような事がないよう配慮しています。 記録等にも個人名を入れないようにしています。		今後も継続して行きます。
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々についての情報は外に漏らさないよう心がけておられる。調査訪問時、職員の会話やトーン等、気になる場面が見受けられた。		この機会に、管理者を含め、職員全員で、利用者個々のプライバシーの確保という視点から、日々の利用者への対応や言葉遣い等を点検されてみてはどうだろうか。
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			意思の伝達が困難な方にはカードを使用したり、表情で読み取ったりしています。		飲みたい物、行きたい所等、些細な事でも利用者が決める場面を、今後も多く作って来たいです。
			(外部評価)		
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者1人1人の体調に配慮し、散歩や買い物に出かけています。		利用者のペースに添った生活に努めて生きたいです。
			(外部評価)		
			起床時間に合わせて食事をする等、それぞれのペースに合わせて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 定期的に美容室の方に来て頂いています。		希望があれば利用者の望む所に行ける様、聞き取りをして行きます。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の調理、とりわけ、後片付け等、職員と一緒に行っています。 又、職員と利用者が同じテーブルで楽しく食事をしていきます。		今後も継続して行きたいです。
			(外部評価) 食材は宅配で届けられるが、ご本人の好まないメニューの時には別に用意されている。季節の料理を一品添えられることもある。午後のおやつは、ホットケーキ等、手作りすること多い。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 喫煙所を設け、他の利用者に迷惑にならない様に配慮しています。		好みのものを1人1人が楽しめるよう、支援して行きたいです、
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を使用し、尿意・便意の無い利用者には声掛けを行い、トイレ誘導を行っています。		オムツを利用している利用者の排泄パターンを把握し、オムツからパンツへの移行に努めていきたいです。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望する時間をお聴きし、入浴して頂いています。 入浴を拒む人に対し、チームプレイによって入浴を試みています。		もっとくつろいだ気分で入浴して頂けるよう、工夫していきたいです。
			(外部評価)		
			ご本人のこれまでの習慣に合わせて、毎日入浴される方や、夜に入浴される方もいる。個々の好みの湯温で入浴できるようにされている。ご家族と温泉に行かれる方もある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個別に休憩をして頂いています。 又、不眠を訴えられる方には、寄り添い話をしたり、酷くなれば医師と相談し、眠剤を処方してもらっています。		一日の生活リズム作りに努めていきたいです。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者の経験や知恵を発揮して頂けるよう、お願いできそうな事を頼んで、して頂いています。		喜び、楽しみ、張り合いがもてるよう支援して行きます。
			(外部評価)		
			刺し子をされたり、下絵をご自分で描いて、ちぎり絵等もされている。季節に応じて花見やほたる狩り・動物園等にも出かけられている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の協力を得て、お金を持っている人には、御自分で支払いをして頂いています。		出来る人に対しては、今後も本人が支払いが出来る様、支援していきます。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			季節ごとに戸外へ出て、楽しい時間が持てる様になっています。 車椅子の方も一緒に出掛けるようにしています。		今後も天候の良い日に外出できる様、支援して行きたいです。
			(外部評価)		
		散歩や買い物等に出かけておられる。		現在、日常的な外出の機会は少ないようである。今後、一日遠足を予定されており、職員は、今後、外出する機会を増やしていきたいと話された。さらに、日常的に地域資源を活用しながら、利用者個々の生活を拡げていかれてほしい。	
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			職員の勤務を調節しながら計画を立て、徐々にしています。		今後も希望に添えられるよう努めていきたいです。
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
					今後も希望に添えられるよう努めていきたいです。
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間は決めていません。 家族や友人が何時でも訪ねて頂けるように配慮しています。		今後も継続していきたいです。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会等も実施し、身体拘束をしないケアを全員で取 り組んでいます。		今後も拘束のないケアに取り組んでいきます。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解しており、 鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者が外出しそうな様子があれば、声掛けをし一緒 について行き、見守ります。 日中は門扉、鍵は掛けず、自由な暮らしを支援してい ます。 (外部評価) 日中、玄関に鍵はかけておらず門扉も開放されてい る。利用者お一人で外出される時には、職員がさりげ なく付き添っておられる。		今後も継続していきます。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者と同じ空間で業務を行ないながら、さりげなく 全員を把握するよう努めています。 夜間は、時間ごとに利用者の様子を確認し、安全に努 めています。		今後も継続していきます。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に合わせて、注意が必要なもの等は職員 で把握し、管理するようにしています。		今後も継続していきます。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止の勉強会を行ったり、火災等の研修も受け たり、職員全員で知識や方法を学ぶ機会を取っていま す。		色々な事を想定して、勉強会や意見交換をして行きま す。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 何回か勉強会を実施し、体験、習得するようにしています。 夜間時は緊急時対応マニュアルで周知徹底を図っています。		今後も継続して行きます。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を経て、避難訓練・避難経路の確認・消火器の使い方等の訓練を定期的に行っています。 (外部評価) 居間から出られるよう、スロープで新たな出入り口を設けられた。隣のアパートの住人の方を個々に訪問し、災害時の協力をお願いされており、いざという時に駆けつけてくれるようになっている。		今後も継続して行きます。 さらに、管理者は、2階ユニットの利用者の避難方法やいざという時の利用者の誘導についても、職員で話し合い、訓練を重ねていきたいと考えておられた。利用者、職員のさらなる安全安心のための方策を工夫していかれてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 面談等で家族に説明し、理解を得られるよう努めています。		今後も継続して行きます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い、利用者の状況を把握出来る様にしています。 またその状態により、ケアマネージャーに報告、医療受診に繋げています。		今後も利用者の体調の変化の発見に努め、気付いた際には速やかに対応出来る様に、職員全員で支援して行きます。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋のコピーをケース毎に整理し、職員が内容を把握出来る様にしています。 本人の状態変化がみられる時は、主治医と連携し対処しています。		今後も継続して行きます。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材や乳製品を取り入れたり、散歩、家事活動等、身体を動かす機会を適度に設けています。		食事・おやつ・飲み物等、食材やメニューの工夫をして行きたいです。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアの声掛けを行い、職員が見守りや介助を行っています。 就寝前は義歯の洗浄を行っています。		今後も継続していきます。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有しています。		今後も継続していきます。
			(外部評価) 職員は、利用者個々の食べにくいものや、飲み込みにくいものについて把握をされている。とろみ剤を利用する際には、「どれが利用者が一番良いか」職員で検討し、使用されている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 早期発見、早期対応に努めています。 職員共に、インフルエンザ予防接種を受けています。		今後も取り決めに基づいて、定期的な勉強会を続けていきます。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾等は毎晩漂白し、清潔を心掛けています。 冷蔵庫内の整理も、週1回のペースで行っています。		今後も継続していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
80		○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関に花を生けたり、玄関先にプランターを置いたりして、季節感を感じられるようにしています。		近所の人たちが立ち寄った時に一息つけたり、庭先でお茶を飲めたり出来るスペースを作っていきたいです。
81	29	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) お茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い、そーめん流し、おはぎ作りや、ゆず湯など、五感や季節感を感じられるよう、支援している。		利用者が自分の住んでいる家だという意識を高めてもらえるような工夫を、もっとしていきたいです。
			(外部評価) 共用空間には習字等、利用者の作品や外出時の写真が飾られている。居間の窓から、四季折々の景色や、農園で作業される方の様子等も眺められる。		さらに、職員同士の会話のやり取り等についても、「利用者の居心地の良さ」という点から点検し、この機会に話し合ってみてほしい。
82		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関ホールにイスを置き、絵画や花などを飾り、居心地の良い空間を作っています。		今後もよりよい空間作りをしていきたいです。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			写真や、使い慣れた日用品が居室に持ち込まれ、利用者の居心地のよさに配慮しています。		家族と相談をしながら、より良い居室作りをしていきたいです。
			(外部評価)		
		タンスやベット等は事業所で用意されている。ご家族の写真や机・いす・鏡や化粧品等も持ち込まれており、利用者個々の暮らしがうかがえた。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			外気との温度差がある時は、温度計と利用者の様子を見ながら調整しています。 トイレは換気扇と消臭剤で対応しています。		今後も継続していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりや浴室、トイレや廊下等、安全確認に努め、生活環境のあらゆるところに自立の工夫をしています。		今後も継続していきます。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			職員で話し合い、本人の不安材料を取り除き、力を取り戻せるよう試みしています。		今後も取り組んでいきたいと思います。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に花を植えたり、畑に野菜を作り、楽しみながら活動出来る様、ベランダで休憩等が出来る環境を作っている。		今後も取り組んでいきたいと思います。

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	出来る限り、利用者の意見を取り入れ、外泊希望者には日程を組んで、希望に添えるようにしています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎食事、おやつ時に長屋かな雰囲気では話をしながら一緒にすごしています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日の過ごし方は、ほぼ決められたスケジュールはありますが、その人に合った暮らしをして頂いています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が趣味とする事等に、スタッフも一緒に取り組み、行っています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を取り入れ、外出しています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常時看護士を置き、病院と提携し、緊急時に対応しています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	民間のサービスを希望している利用者には、要望に応じてサービスを受けられるようにしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族と面会を行い、利用者はその時々訴えに傾聴し、要望、要求に応えています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	各行事ごとに、案内状を送り、御招待しています。

(自己評価)

特定非営利活動法人 JMACS